

協伸商会穀物レポート [KKR] Vol. 018

(2019/20年度 USDA 米国農務省 1月10日発表)

[ハイライト]①穀物/大豆の需給関係には大きな変動はないがここにきて最大の焦点は1/15締結された米中貿易協議の「第一段階」合意である。合意は7項目に及ぶが全体の数量概略と農業関連は以下の通り。②中国は米国产モノ/サービス輸入を2017年比(約1,860億ドル)今後2年間で約2,000億ドル拡大するし21年には約1,200億ドルの純増とした。(内訳は工業品777/エネルギー524/農畜産物320億ドル/その他)③対中農畜産物輸出は2017年195億ドル(内大豆3,100万ト/130億ドル)に対し上乗せは1年目125、2年目195億ドルと2年後には倍増の約400億ドルとその実現性を疑う大きな数字となる。④農畜産物には大豆/穀物/肉類/綿/肥料/ジュース等の他に木材/農薬等も追加の可能性はあるが、主要な大豆の大幅拡大(例えば中国輸入の半分4千万ト強/2019年の倍増/200億ドル程度)や肉類輸出(2019年1-11月70万ト/109億ドル)の更なる拡大等がなければ実現は厳しくハードルは極めて高い。⑤米中間の綱引きは「第二段階」合意に向け今後も長期戦になるが、穀物/大豆の世界貿易量は人口爆発と経済発展により拡大し20年代には海上荷動き量も6億トを超えるものと想定される。※今月の特集は休みます。2月以降、存在感を増す中国の食糧生産と農業政策、食糧生産大国となったBRAにおける内陸物流とアマゾン河川航運等について特集します。

1、世界穀物需給の概要(大豆除く)

- ① 生産量：2,663百万ト(前年比1.4%増、前月比▲0.1%)
- ② 消費量：2,670百万ト(前年比1.0%増、前月比0.2%増)
- ③ 貿易量：428百万ト(前年比▲0.5%、前月比0.3%増)

2、とうもろこし

- ① 生産量：1,111百万ト(前年比▲1.0%、前月比0.2%増)
- ② 消費量：1,133百万ト(前年比▲0.9%、前月比0.6%増)
- ③ 貿易量：166百万ト(前年比▲8.7%、前月比▲0.6%)
- ④ 概況：昨年比、最大生産国である米国の生産減(364⇒347)輸出減(55⇒48)によって世界全体の市場は若干縮小したが、世界的な食肉生産/消費拡大による配合飼料需要増による市場拡大は今後継続すると思われる。
価格は\$3.87/Bu(前年\$3.83/Bu、前月\$3.67/Bu)と前月比¢20上昇した。

3、小麦

- ① 生産量：764百万ト(前年比4.5%増、前月比▲0.1%)
- ② 消費量：754百万ト(前年比2.4%増、前月比0.1%増)
- ③ 貿易量：181百万ト(前年比4.6%増、前月比0.7%増)
- ④ 概況：世界的にはCAN/EU等の増産で市場は拡大しているが、AUSは昨年9月以降の森林火災拡大による影響は深刻で小麦生産はピーク時2011/12年の30⇒15百万トまで半減。今後とも乾燥/減産の懸念が続く。
価格は\$5.55/Bu(前年\$5.17/Bu、前月\$5.33/Bu)と前月比¢22上昇した。

4、大豆

- ① 生産量：338百万ト(前年比▲5.7%、前月比0.1%増)
- ② 消費量：350百万ト(前年比1.9%増、前月比0.1%増)
- ③ 貿易量：149百万ト(前年比▲0.1%、前月比変わらず)
- ④ 概況：BRAは大豆生産/輸出とも拡大の勢いは衰えず生産123輸出76百万トとUSを大きく上回り中国の最大の輸出国として存在感が際立っている。今後、米中合意によるUS産大豆の巻き返しにどう対応するか注目。
価格は\$9.31/Bu(前年\$9.10/Bu、前月\$8.90/Bu)と前月比¢41上昇した。

世界の穀物・大豆等の需給

2020年1月10日
米農務省発表：単位100万トン

	生産量		供給量		貿易量		総使用量		期末在庫量			
	2017/18	2018/19	2019/20	2017/18	2018/19	2019/20	2017/18	2018/19	2019/20	2017/18	2018/19	2019/20
全穀物	2,619	2,626	3,417	415	2,601	817						
	2018/19	2,666	3,443	430	2,643	800						
	2019/20	2,663	3,463	427	2,664	799						
	1月	763	1,026	182	743	283						
小麦	2018/19	731	1,015	173	736	278						
	2019/20	765	1,043	180	754	290						
	1月	764	1,042	181	754	288						
粗粒穀物	2017/18	1,361	1,747	185	1,376	371						
(とうもろ	2018/19	1,395	1,766	212	1,419	347						
こし等)	2019/20	1,402	1,748	201	1,417	331						
注1	1月	1,402	1,749	201	1,421	328						
	2017/18	342	437	153	338	99						
	2018/19	358	457	149	347	110						
大豆	2019/20	337	447	149	351	96						
	1月	338	448	149	351	97						

	期首在庫		生産量		輸入量		国内計		輸出量		期末在庫量	
	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月
世界計	109.80	110.28	337.48	337.70	147.94	349.67	149.15	96.40				
アメリカ	24.85	24.74	96.62	96.84	0.41	60.78	48.31	12.92				
アルゼンチン	28.89	28.89	53.00	53.00	3.90	51.70	8.20	25.89				
ブラジル	29.76	30.26	123.00	123.00	0.20	46.54	76.00	30.42				
中国	19.39	19.46	18.10	18.10	85.00	102.20	0.13	20.16				
EU	1.08	1.08	2.60	2.60	15.20	17.56	0.25	1.07				
	1月	1.08	2.60	2.60	15.20	17.56	0.25	1.07				

	期首在庫		生産量		輸入量		国内計		輸出量		期末在庫量	
	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月
世界計	319.17	320.39	1,108.62	1,110.84	167.56	1,127.23	166.64	300.56				
アメリカ	53.71	56.41	347.01	347.78	1.27	306.47	46.99	48.53				
アルゼンチン	3.61	3.61	50.00	50.00	0.01	15.00	33.50	5.12				
ブラジル	5.08	4.58	101.00	101.00	1.00	66.00	36.00	5.08				
EU	7.63	7.63	64.56	65.00	21.00	82.50	2.00	8.69				
日本	1.44	1.44	0.00	0.00	16.00	16.10	0.00	1.34				
中国	211.32	210.32	260.77	260.77	7.00	278.00	0.02	201.07				
ウクライナ、	1.27	1.27	49.50	49.50	0.06	14.00	35.70	1.13				
ロシア	1.32	1.32	50.00	50.00	0.06	13.85	36.20	1.33				

	期首在庫		生産量		輸入量		国内計		輸出量		期末在庫量	
	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月
世界計	277.85	278.06	765.41	764.39	177.57	753.76	179.81	289.50				
アメリカ	29.39	29.39	52.26	52.26	2.86	31.46	26.54	26.51				
アルゼンチン	1.63	1.74	19.00	19.00	0.01	6.05	13.00	1.59				
オーストラリア	4.96	4.96	16.10	16.10	0.45	8.70	8.40	4.41				
カナダ	5.92	5.92	32.35	32.35	0.45	9.35	24.00	5.37				
EU	10.00	10.00	153.50	154.00	5.50	127.50	29.00	12.50				
中国	139.77	139.77	133.59	133.59	3.20	128.00	1.10	147.46				
インド	16.99	16.99	102.19	102.19	0.02	98.00	0.50	20.70				
ロシア	7.82	7.82	74.50	73.50	0.48	39.50	34.00	8.29				
ウクライナ	1.59	1.59	29.00	29.00	0.08	9.40	20.00	1.26				
	1月	1.59	29.00	29.00	0.08	8.90	20.50	1.26				

脚注1：粗粒穀物はとうもろこし、マイロ、大麦、燕麦、ライ麦等の計で約80%がとうもろこしである。
 脚注2：年度は穀物年度。地域・作物により異なる。例：アメリカ産とうもろこし、大豆：9月～8月。
 脚注3：ウクライナ、ロシアは両国の合計。